

(様式1)

親子の学び応援講座実践報告書

名 称	親子でメディアについて考える会
講座開催日	平成30年5月31日
会 場	只見町立朝日小学校
参加人数	36名 子ども(16名) 保護者(朝日小12名, 只見中5名) 教職員(3名)
実践活動テーマ	メディアが子どもに及ぼす影響
テーマ設定の理由及び実践活動のねらい	スマホ、タブレットが身近にあり、動画を見たり、メールを送ったりすることができる学年である。メディアが子どもの生活に及ぼす影響について、親子で一緒に話を聞くことにより、共通理解のもと家庭におけるメディア環境や親子のやくそくを見直す。
講座及び実践活動内容	
<p><日程及び内容></p> <p>13:50~13:55 開会, PTA学年委員長あいさつ</p> <p>13:55~14:40 講演「メディアが子どもの生活に及ぼす影響について」 講師 福島県教育庁南会津教育事務所 指導主事 伊藤武徳 氏</p> <p></p> <p>○子どもの人生を守るためのフィルタリング活用法</p> <ul style="list-style-type: none">子どもに与える機器については、親が知識を身につけてから与える。 その機器でどんなことができるのか。 有害情報・使用時間などのフィルタリングが可能か。 どんな使い方をさせたいのか。 <p>○人間フィルタリング</p> <ul style="list-style-type: none">親子のコミュニケーションが最良のフィルタリングである。 「肌が離れて」「手が離れて」「目が離れて」も「心だけは離れない」 <p>14:40~14:45 閉会</p>	
<p><児童の感想></p> <p>ネットはふつうに見ているけれど、とても怖いことがたくさんあることが分かりました。私は、YouTube を利用しています。安全だろうと思って使っているけれど、フィルタリングをかけるくらい危険があることが分かりました。</p> <p>親としっかりルールを決めて、安全に使いたいです。</p>	<p><保護者の感想></p> <p>子どもたちも大人もインターネット端末を当たり前のように自由に使っていた(使わせていた)ことに危機感をもち、少し立ち止まって考える機会をいただいた。これから子どもたちは、パソコンやタブレットを活用して学習していくようになる。親が分からないから禁止、怖いから禁止ではなく、インターネットを使うことにより、機器との付き合い方を学ばせることが大切だと思う。その前に、私たちも知識をつけ、学ぶことをしていかなければいけないと痛感した。</p>

※講座及び活動内容の概要を記入してください。また、内容が分かる写真等を挿入してください。参考資料があれば添付してください。